

平成28年度「ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト」

読書活動支援者育成事業

会津地区研修会 実践編

福島県教育委員会（会津教育事務所）

- 目的：地域で子ども読書活動を推進するボランティアの資質向上を図り、学校図書館の支援もできる人材を育成する。
- 日時：平成28年10月4日（火）13:10～16:10
- 場所：会津大学 中講義室
- 参加者：73名

実践発表

子どもの読書活動の推進について

会津図書館長 坂内香代子 氏

- 0歳からの絵本スタート
- 絵本の音楽会（H25～）
- 季節のおはなし会
- ボランティアによる活動
- 会津図書館を使った調べる学習コンクール
- 会津ビブリオバトル（市内中高生対象）
- 小・中学校への支援（学校図書館巡回訪問、移動図書館の運行）
- 中高生へ向けた展示（市内中高生の図書委員と連携）
- 講座の開催（読み聞かせ講座、図書館ボランティア養成講座）
- 今後に向けて



分科会A【学校司書】

実践発表「魅力ある学校図書館づくり」

郡山市立緑ヶ丘中学校 学校司書 遠藤 倫子 氏

- 読書センターとしての図書館機能の充実
 - ・年間読書目標を一人20冊にしている。
 - ・生徒の25%が100冊達成した。
 - ・最高は320冊である。
- 図書館機能の充実
 - ・環境づくりについて、事例を紹介する。
 - ・蔵書の点検を通して、年間800冊を廃棄している。
 - ・図書委員会の活性化に関する実践例を紹介する。
（ビブリオバトルの開催・本紹介ワークシートの作成・教科書展示・読書パズル・ノート展示・図書リストの作成）
- 学校図書マニュアルの作成
 - ・学校全体による図書館運営につながる。



分科会A 【学校司書】

実演習・情報交換「学校図書館の運営」

県立図書館主任主査 鈴木 史穂 氏

- 学校図書館に求められる機能「子どもたちの居場所」
- 学校図書館の環境整備
 - ・本のディスプレイの実例紹介
(取りやすさ・見やすさ)
 - ・美化、安全、避難経路の観点からの見直し
 - ・小物の活用した効果的なディスプレイの紹介
(針金ハンガー、まな板、布、テーピング等)
 - ・返却ボックスの工夫
- コミュニケーション
 - ・学校司書が教職員と学校図書館をつなぐ



分科会B 【読み聞かせ】

実践発表「読み聞かせボランティアの取組と朗読劇の発表」

朗読劇サークルアグリーダックス 坂場 八重子 氏

- 「ゆらゆらばしのうで」の朗読劇
(きむらゆういち作、はたこうしろう絵)
- 「エリカ 奇跡のいのち」の朗読劇
(ルース・バンダー・ツ・作、ロベルト・インノチェンティ・絵、柳田邦夫・訳)
 - ・県内の小・中学校、町内サロン、子育て支援、高校同窓会等、幅広い年代の方向けに発表している。
 - ・朗読、音楽、プロジェクター等、分担して行う。



分科会B 【読み聞かせ】 演習「絵本でつながる人と人」

絵本講師 福島 はるお 氏

○ グループで自己紹介

- ・ ニックネーム。
- ・ お住まい（市町村）。
- ・ 今日食べたいおいしいもの。

○ 親子での読み聞かせ

- ・ 親の1割程度しか我が子へ読み聞かせをしていない。
- ・ 読み聞かせは「難しい」と考えすぎる。
- ・ 読み聞かせは、技術ではなくコミュニケーションが大事である。
- ・ 親子の読み聞かせは「1対1」のコミュニケーションである。

○ グループで読み聞かせ大会

- ・ 一人が読む。
- ・ 聞き手は、その人のよいところを伝える。
- ・ 一人4分。



参加者の声

- 具体的な実践例をお話くださり大変参考になりました。読書パズルやディスプレイなど自校の図書館でも出来そうな所から少しずつ取り入れていきたいです。
- 生徒に本に興味を持ってもらえるような工夫やアイデアがいっぱいあって参考になりました。読書の面白さを伝えられたらよいと思います。
- お金がなくても、学校図書館の運営はいろいろな方法でできるんだなぁと思って、これからの運営に役立てたいと思います。
- アグリーさんの読み聞かせを初めて聞きましたが、とても感動しました。また、聞いてみたいと思いました。
- 映像、音楽、読み手の声が見事にマッチして感動しました。特に「エリカ」に涙が出そうになりました。
- グループ内での読み聞かせの実施、読み方が多様で勉強になった。
- 実際に読み聞かせをし合った研修会は初めてです。お互いに意見を言い合い、とてもいい勉強となりました。
- 市内周辺のボランティアの方たちとの交換会も、とても有意義でした。いろいろな意見を聞き、よかったです。